

平成 30 年 10 月 3 日

【件名】

ナンブラ市における犯罪被害に関する注意喚起

【本文】

在留邦人及び旅行者の皆様へ

ナンブラ州ナンブラ市において、邦人への強盗事件が発生しました。最近、ナンブラ州では、スリや強盗、空き巣等の犯罪が多発しています。ナンブラ州に滞在の皆様及び出張や旅行等で同州（特にナンブラ市とナカラ市）に行かれる方は、以下の点に留意し、常に高い防犯意識を持って行動いただくよう心掛けて下さい。

－外出先－

- ・所持金は必要最小限にする（財布を分ける）。
- ・目立つ服装や行動をしない（貴金属等の高価なものを身に着けない）。
- ・人混みの多い場所では周囲の状況に注意を払う。
- ・不用意に人が近づいてきたらバッグを抱えるなどする（荷物は最小限にする）。
- ・できる限り複数人で行動する。
- ・万が一、強盗や恐喝に遭われた場合は、身の安全を第一に考え、抵抗しない。

－宿泊先－

- ・所持金は必要最小限にする。
- ・部屋を出るときは戸締まりを忘れない。
- ・貴重品はセーフティボックスに収納する（安全なセーフティボックスに限る）。
- ・その他の荷物はスーツケースに収納し施錠する（室内はきれいな状態を保つ）。
- ・ホテルのスタッフ（掃除や荷物運びの方）へのチップを忘れない。

【事件概要】

- ・ 1 日午前 07：00 頃、被害者がナンブラ市内のユニベルソホテル付近を歩行中、背後から現地の男に肩を叩かれ、振り向いたと同時に男 3 人に取り囲まれた。
- ・ 男らは一斉に被害者のバックなど奪おうとしたが、被害者は抵抗したため、体を路上に打ち付けられ、手足に軽傷を負わせられた。
- ・ その後、付近の住民が被害者を助けに近づいてきたため、男らは強盗を諦め逃走した。

以上